

3 学習の見直し

1. 題材設定の理由

中学校での生活も1年を終えようとする時期である。次学年でのさらなる飛躍のためには、個々の取り組みを振り返り、具体的に課題をもつことが大切である。1-7や1-8では、自分の特徴を知り、目標に向けては、自分を一層伸ばしていくための手だてについて学習してきた。

学習面では、向上したいという気持ちはあっても、どうしていいのかわからずつまずいてしまう者も多い。また、やる気をもったときに、まず自分は何からはじめていくかを明らかにさせておく必要がある。そこで、自分の学習のあり方を見直させ、より効果的な学習方法を身につけさせたい。

2. 指導のねらい

学習における自分自身の課題を明らかにするとともに、仲間の取り組みなどから、自分の努力の仕方について方向を見つけることができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・P.64の①、②を書かしておく。
本時	・学習においての自分の努力について方向が見つけられる。
事後	・P.65⑤の各個人の努力目標をつかみ、前向きな姿勢を評価していく。

<説話例>

「良い輪と悪い輪」

やる気を出す→実行してみる→少し続ける→少しできるようになる→期待感をもつ→少し自信が出る→やれることが増えてくる→やる気が出る→実行してみる→……を「良い輪」という。やる気がわかない→やらない→やり始めてもすぐやめる→できるという実感がもてない→いくらやってもダメという思いが強まる→自信をなく

す→あれもこれもできないと思うようになる→できないことが増える→やる気がわかない→……を「悪い輪」という。このどちらを走るかは、伸びざかりの君たちにとって重大な問題だ。人間だれしも、思ってもみなかったことや、あきらめかけていたことができた時、その喜びは大きい。さらに、「よしやるぞ!」という気持ちが沸き上がってくるものである。しかし、その気持ちは、やろうとして、取り組んだものだけが味わうことができない。ぜひあの心地よい気持ちを味わってほしい。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・これまでの取り組みを振り返ることができる。	◎自分の学力についてまとめ、自分の得意な教科、苦手な教科について、自分の取り組みを具体的な事実をもとに発表する。 ・前のテストの取り組みを反省しながらやったら、少しずつやり方が分かってきた。 ・数学の図形問題が苦手で、すぐ分かる人がうらやましい。 ・時間をかけても、社会の内容が十分には身につかない。 ・英語の長文が出てくると、あきらめてしまう。 ・理科の電気のところが、ややこしくて分からない。 ・国語の学習の仕方が、分からない。	(事前に教科担任に学習方法についてのアドバイスを取材させてもよい) ・P.64①、②でまとめることで自分の学習に対する姿勢を振り返らせる。 ・仲間も自分と同じように学習においての悩みを抱えていることを理解させる。	・P.64①、② ・テスト成績など。
課題：仲間の取り組みを参考にして今の学習を振り返り、課題をはっきりさせよう。				
中心の活動	・自分を振り返るとともに、仲間の取り組みから、自分が今後努力する方向が分かる。	◎班交流を行って、「得意になった理由」や「不得意科目をなくす工夫」について、P.65の③にまとめる。 ①班交流 班長が司会をして具体的に工夫を出し合う。 ・復習に時間をかけて、ノートをまとめ直している。 ・授業のノートは、板書だけでなく、余白にメモをとるようにしている。 ・数学の問題をパターンに分けて、練習している。 ・英語の基本文を自分のものにすることに重点をおく。 ②P.65の④に記入する。 班交流で出されたことやプリントをもとに記入する。	・仲間の頑張り気づかせる。 ・それぞれに合った学習法があることを理解させ、自分に合ったものを見つけ出していけるようになるべく多く出させる。 ・資料をうつすのではなく、なるべく仲間同士でアドバイスし合うことを大切にさせる。	・P.65③ ・P.71①「学習の進め方」など ・P.65④
まとめの活動	・今後の努力目標を設定し、実現に向けて精いっぱい取り組む決意をもつことができる。	◎本時の学習から、今後、自分の学習をどのように改善していくかをまとめる。 ①P.65の⑤に記入する。 ②班内で取り組みを発表し合い、交流する。 ◎本時のまとめを発表する。 ◎先生の話聞く。	・具体的な目標となるように配慮する。 ・社会のまとめのノートを作る。 ・英語の熟語を書いて部屋に貼る。 ・計算練習を毎日決めただけ取り組む。 ・自分の決意を仲間と交流させることで、その実現に向けてより強い意志をもたせる。(事後に、教科担任に学習方法のアドバイスを取材させてもよい)	・P.65⑤